

# ■070731 中環審循環計画部会 「循環基本計画見直しに向けて」

## 持続可能な社会を実現する、 3R徹底と循環型地域づくり めざして

崎田裕子(ジャーナリスト・環境カウンセラー)

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

NPO法人新宿環境活動ネット代表理事

# ■循環型社会構築に期待する基本姿勢 3Rイニシアティブ閣僚会合への市民提案

- 9つの全国ネットが参画して、意見とりまとめ  
2005・4・27「3R市民フォーラム」として発表
- ①天然資源使用の徹底的な節約
- ②拡大生産者責任を基盤に、リデュースを  
可能にする 産業構造と生活様式の実現
- ③リユース社会を指向する仕組み、サービスの  
定着

# 3Rイニシアティブ閣僚会合への市民提案

- ④「循環」の徹底した地域づくり、国づくり  
自国内処理の原則
- ⑤有害物質汚染の最小化
- ⑥持続可能な開発のための教育の促進と  
市民参加の確保
- ⑦世界のくらしと地域をつなぐ、  
草の根の連携

# ■ 循環基本計画見直しで、 大切にしたいキーワード

- ①時代性      ～地球温暖化、資源・エネルギー枯渇
- ②ビジョン      ～20年程度後の将来ビジョン共有  
ライフスタイル・産業スタイル変化
- ③3R      ～天然資源節約・リユース具体化
- ④地域      ～人づくり・自立した地域づくり
- ⑤連携・協働      ～共に創る、各主体の役割と信頼
- ⑥国際循環      ～国内循環原則・持続可能なアジア
- ⑦実効性      ～「環境と経済の好循環」の創造

①  
時代性

# 地球と人間の共生めざして 共に実現したい、環境と経済の好循環

## ■「21世紀『環の国』づくり会議」骨太方針 2001年

①地球温暖化対策

☆科学技術の進展

②循環型社会づくり

③自然との共生

☆環境産業革命  
「環境と経済」

☆パートナーシップ  
「人と人の環」

# 「第3次環境基本計画」のキーワード 『環境から拓く 新たな豊かさへの道』

- ①環境の価値が評価される市場づくり  
(環境と経済の好循環の創造)
- ②環境保全の人づくり、地域づくり  
(人づくり・ネットワーク・活力ある地域づくり)
- ③科学技術の推進、情報基盤の整備
- ④国際的取り組み、ルール形成へ参画  
↓
- 「健やかで美しく、豊かな環境先進国へ」  
2025年めざして...■

# どう実現？ 環境と経済の好循環する パートナーシップ社会への道

- 環境の価値を評価する市場をつくる
- 消費市場：環境にいい商品・サービスを選択
- 投資市場：SRI投資(金融のグリーン化)



- 情報整備(環境ラベル・環境報告書)
- 作り手・使い手のコミュニケーション



- 連携・協働の環境学習・人材育成・NPO支援
- 連携協働を地域社会で具体化・システム化

②

ビジョン

## 循環型社会の将来ビジョン

- 「もったいない」～健やかで美しく豊かなくらし
- 自立した地域づくり～都市再生・国づくりへ
- エコタウン⇒ゼロエミッションへの視点
- バイオマス⇒地域エネルギーの自立  
(林業・農業・畜糞・食品・下水汚泥)
- エネルギー位置づけ～廃棄物発電・バイオマス
- 地域活性化～コミュニティービジネス創造
- 市場のグリーン化～消費市場・金融市場

### ③発生抑制 重視の3R

## 指標や目標の設定

- リデュース指標～発生抑制明確化  
(産業～天然資源投入の削減)  
(くらし～ごみと資源の総量の削減)
- リユース指標～再使用へのインセンティブ  
(「もったいない」意識の定着へ)
- 消費市場・投資市場のグリーン化指標
- 活力ある循環型地域指標
- 環境ビジネス・循環ビジネス指標
- 定性的なものを定量化した指標の評価

④

## 連携・協働

# 各主体の役割

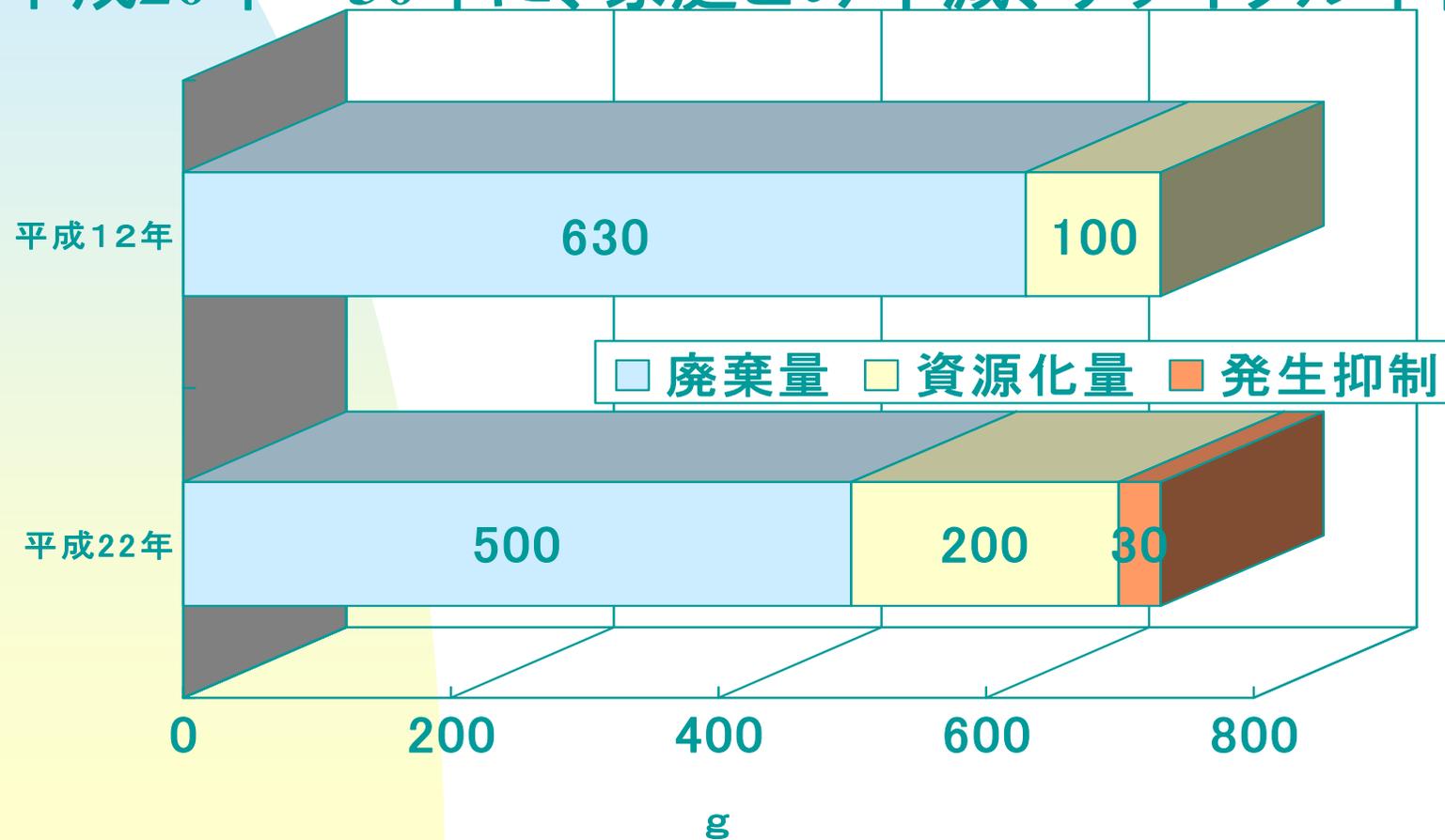
- メーカー～拡大生産者責任(可視化)
- 循環ビジネスの民営化議論
- 販売 ～商品と消費者をつなぐ位置づけ
- 消費者・市民 ～ライフスタイル見直し・分別参加
- リサイクルコスト・家庭ごみ有料化
- NPO ～環境教育・環境コミュニケーション
- 行政 ～連携・協働コーディネーター
- くらし・地域3Rのシステム化
- 市民参加・環境教育・人づくり

# どう減らす？私たちのくらしから出るごみ

循環型社会形成推進基本計画の目標値

平成12年⇒22年に、家庭系ごみ20%削減目標

平成20年⇒30年に、家庭ごみ半減、リサイクル率倍増！

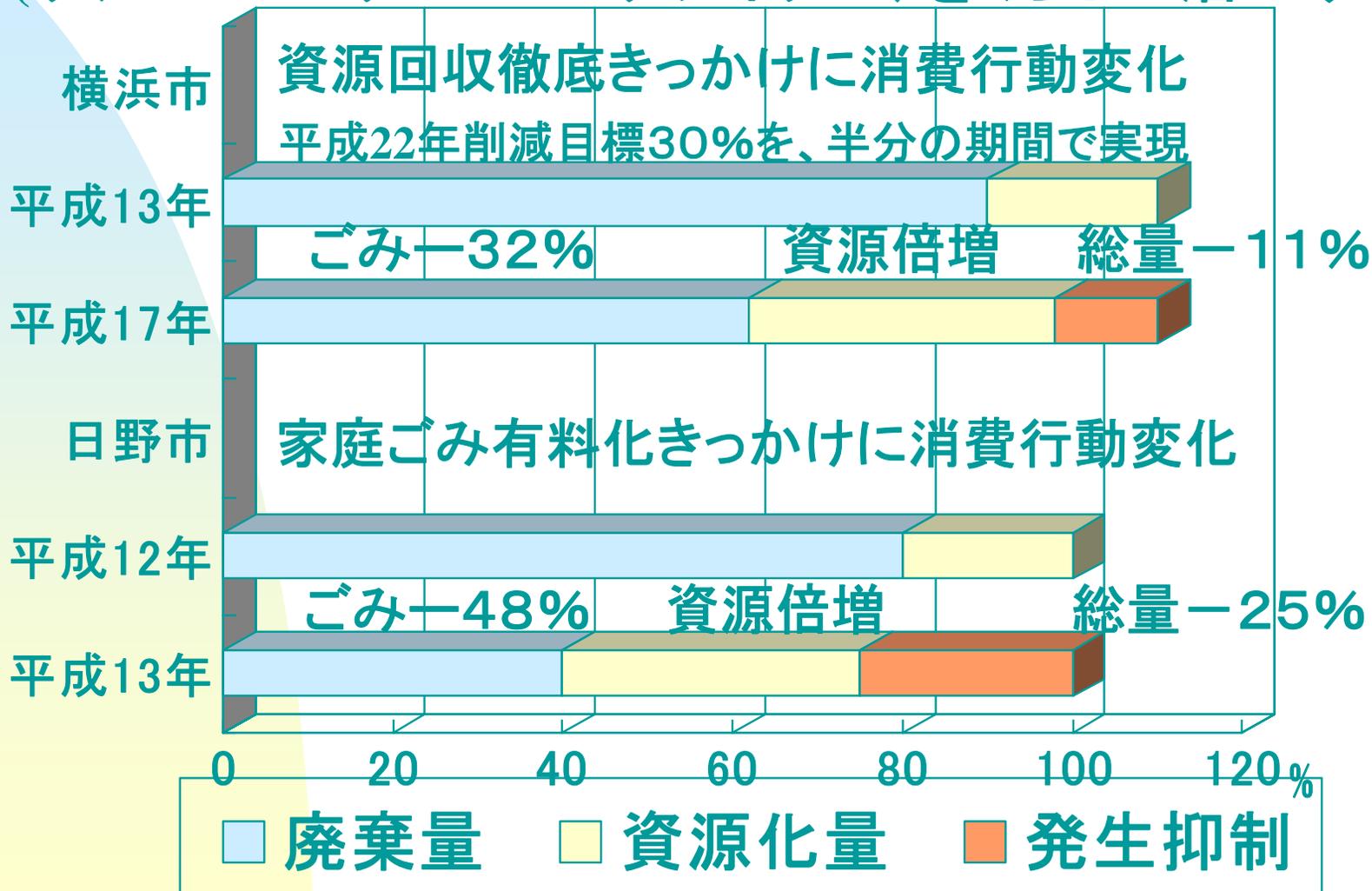


# 3Rをくらしに活かして ごみを作らない出さない循環型社会に

- 3Rの優先順位の徹底
- ①リデュース(発生抑制)⇒ごみを減らす  
マイバッグ、レジ袋削減(レジ袋有料化)、  
詰め替え容器、量り売り、裸売り
- ②リユース(再使用)⇒何度も使う  
修理・リース・リターナブル容器・デポジット
- ③リサイクル(再利用)⇒資源に活かす  
店頭回収の拡大、  
リサイクルコスト、CO2換算表示
- 家庭ごみ有料化の推進

# 資源回収と3R実践で発生抑制効果

3R(リデュース・リユース・リサイクル)をくらしに活かす



## ⑤地域

# 地域コミュニティの 継続・発展に向けて

## ■ 全国各地の元気な地域活動の特徴

- ・主体性 (各立場が主体的に参加、参画)
- ・独自性 (地域資源を活かし、地域課題解決)
- ・連携・協働 (市民・NPO・企業・大学・自治体)
- ・伝える視点 (環境学習、こども環境活動支援)
- ・継続性 (3R・ゼロエミ・エネルギーへ)
- ・まちづくり (まちおこし、仕事おこしへの広がり)
- ・経済性 (コミュニティビジネスの視点)

⇒ 人づくり・地域づくりで、持続可能な国づくり..

# 「もったいない」精神で、買い物を見直す 簡易包装を実現する、地域連携の広がり

レジ袋ひとり年間300枚。トレイは100種以上。  
店頭調査を元に、小売店・消費者のごみ減量協議会の立ち上げ



# 3R推進から地域環境活動へ 「足元からの環境のまちづくり」

- 身近なリサイクル活動から  
リユース食器ごみゼロイベントまで
- グリーンコンシューマー
- 食と農、都市と農村交流
- 環境学習・こども環境活動支援
- 自然環境保全・自然エネルギー
- 地域おこし・特産品づくり  
⇒ 連携と協働  
⇒ 暮らしからまちへの広がり

